


東京応化工業株式会社

-tok中期計画2024-

tok

2022年2月15日
東京応化工業株式会社

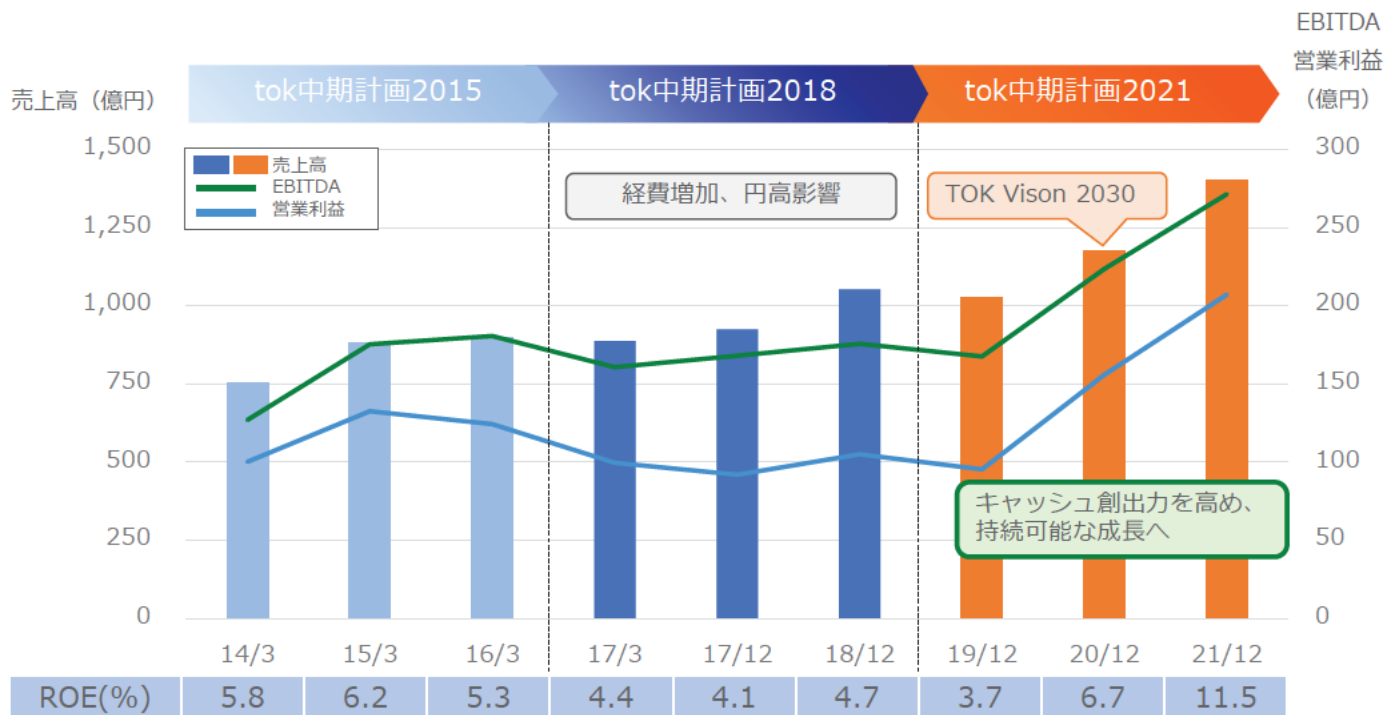


目次

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. tok中期計画2021総括 | p.2 |
| 2. TOK Vision 2030の概要 | p.4 |
| 3. tok中期計画2024 | p.7 |
| 4. カーボンニュートラルの実現に向けて | p.23 |

tok

- 2019年度は米中通商摩擦の影響等により、収益悪化
- 2020年度、2021年度は半導体需要の拡大により、
過去最高業績を2期連続で更新 → 成長軌道への回帰を果たす



- 売上目標 : 目標レンジ上位達成
- 営業利益/ROE : 好調な半導体需要にともなう高付加価値製品の売上伸長により達成

	中計目標	2021/12実績
定量目標	売上高 : 1,250~1,450億円	➤ 1,400億円
	営業利益 : 150~205億円	➤ 207億円
	ROE : 8.0%以上	➤ 11.5%

事業/製品	総括	達成度
ArF/EUV	・ 大手顧客の採用拡大と生産量増。 ・ 大手顧客で高シェア獲得。	○
KrF	・ 3D-NAND向け厚膜レジストの需要拡大。 ・ アジア地域における需要拡大。	○
高密度実装材料	・ 先端パッケージ向けレジスト採用獲得やOSATで需要拡大。 ・ 国内外顧客でMEMS材料の採用拡大。	◎
高純度化学薬品	・ アジア地域における旺盛な半導体生産に伴う需要拡大。 ・ 北米地域における新規Clean Solutionの需要拡大。	○
装置事業	・ コロナ影響による渡航制限を受けた装置立上げの長期化。 ・ コロナ影響による部品調達の遅延。	×



豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material^{*} Global Company”
未来への価値創造



tok

※ 「e-Material」 とは 「Electronic Material」 の略

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

想定通りの進展に加え脱炭素化の流れが加速



tok

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

定性側面

- 顧客が感動する新しい付加価値を提供する
- 世界のステークホルダーから信頼される
- 高い技術力を育成し続け、グローバルで存在感を示す
- SDGsに貢献することを意識し、企業価値を持続的に向上する
- 皆が生き活きと誇りをもって働ける

定量側面

	2021年度実績		2030年度
• 売上高	1,400億円	➤	2,000億円
• EBITDA	271億円	➤	450億円
• ROE	11.5%	➤	10%以上

tok

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024

~2030年に向けて “Boost up TOK!!”~

tok

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

TOK Vision 2030を実現するための中期計画

経営ビジョン

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company”



中期計画戦略

- (1) 先端レジストのグローバルシェア向上
- (2) 電子材料および新規分野でのコア技術の獲得/創出
- (3) 高品質製品の安定供給とグループに最適な生産体制の構築
- (4) 従業員エンゲージメントを向上させ人を活かす経営の推進
- (5) 健全で効率的な経営基盤の整備



「2030年に向けて “Boost up TOK!!”」

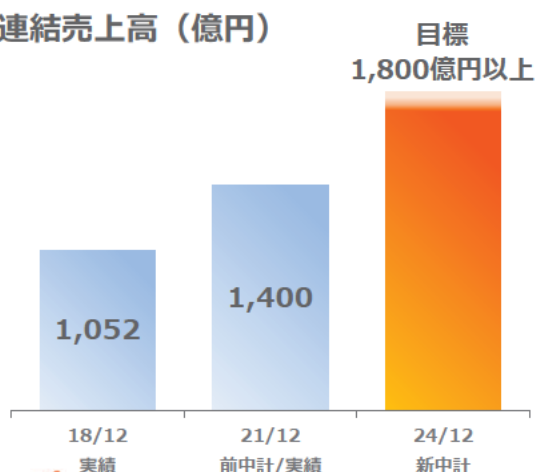
業績目標 (2024年12月期)

連結売上高	1,800億円/年	以上
連結営業利益	270億円/年	以上
EBITDA	350億円/年	以上
ROE	8.0%以上	を維持

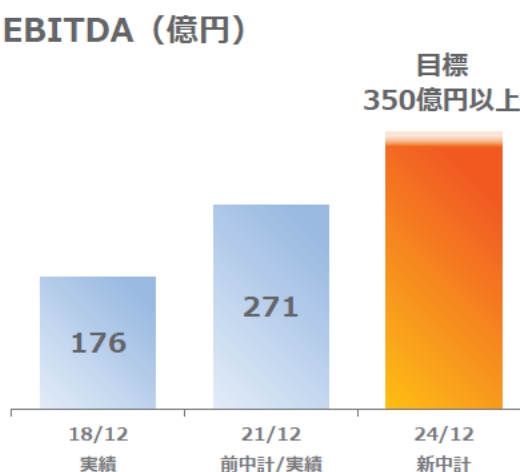
経営ビジョン (TOK Vision 2030)

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company”

連結売上高 (億円)

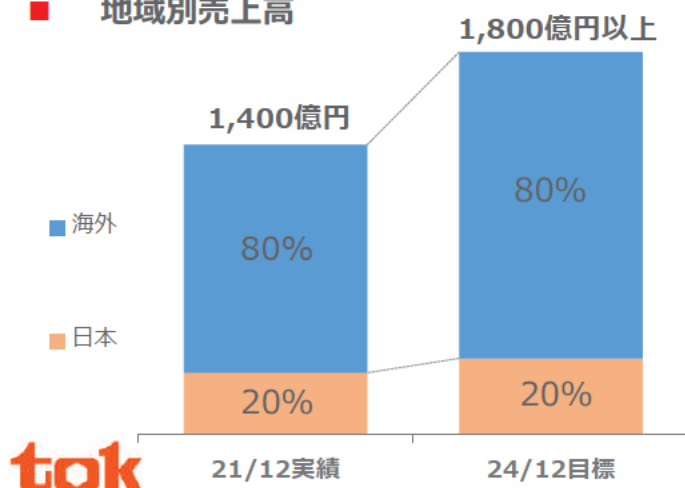


EBITDA (億円)



単位：億円	2021/12 実績	2022/12 予想	2024/12 目標
売上高	1,400	1,621	1,800以上
EBITDA	271	312	350以上
ROE (%)	11.5%	10.4%	8.0%以上を維持
為替 (円/USD)	109.0	110.0	110.0

■ 地域別売上高



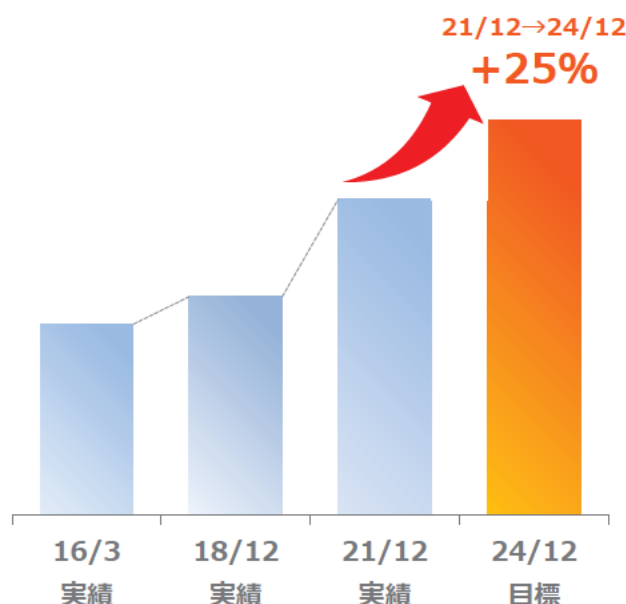
■ 売上増加のけん引役は引き続きアジア（韓国、台湾、中国）



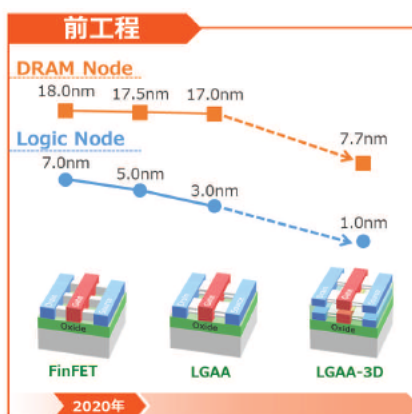
事業戦略①：半導体用フォトレジスト

高まる半導体需要に対してフルラインナップで販売拡大

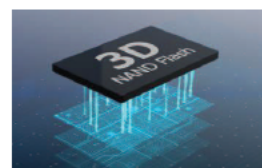
売上実績・売上目標



- ArF/EUV
微細化をけん引する先端製品を速やかに提供
- KrF
先端ロジック、メモリから汎用デバイスまで広域をカバーした製品提供
- g/i-line
あらゆる場面で拡大するレガシー半導体需要に対応（車載、脱炭素化など）



3D-NAND



レガシー半導体

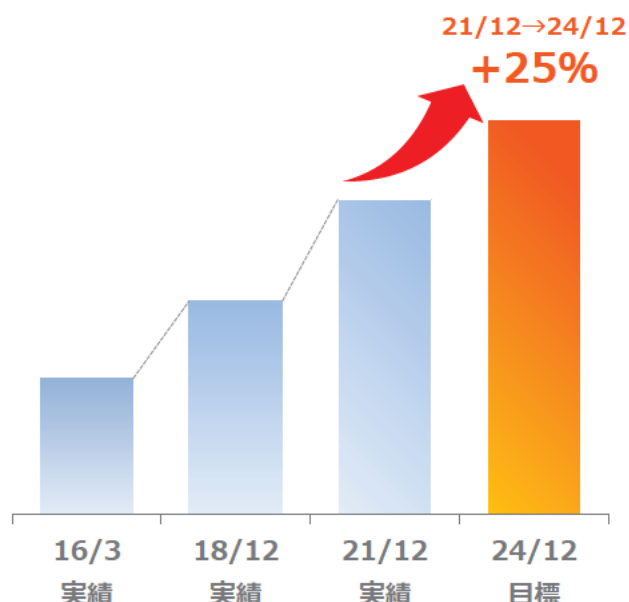


<TOK Vision 2030より>



先端パッケージ技術に迅速に対応した製品展開

売上実績・売上目標



tok

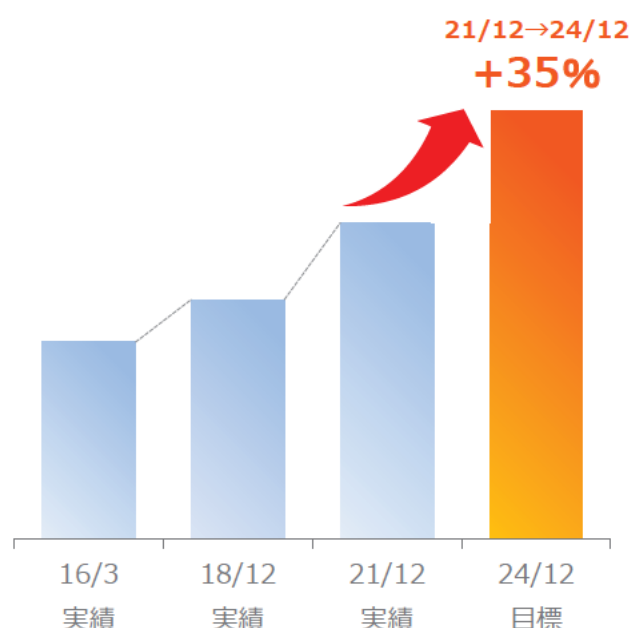
- パッケージ材料
 - 先端パッケージ材料の採用拡大
 - ・最先端技術をけん引するBUMP用レジスト、再配線レジストの提供
 - OSATにおける販売拡大
- MEMS材料
 - 高周波デバイス向け販売拡大と次世代ニーズへの対応
 - 世界の大手電子部品メーカーへの採用



<TOK Vision 2030 より>

半導体プロセスの高度化と需要増加に対して アジア・北米で販売拡大

売上実績・売上目標



tok

- 中国市場を含むアジアでの販売拡大
- 先端プロセス向け製品への需要拡大
- 次世代向け新規Clean Solution/新規シンナー開発を大手顧客と推進

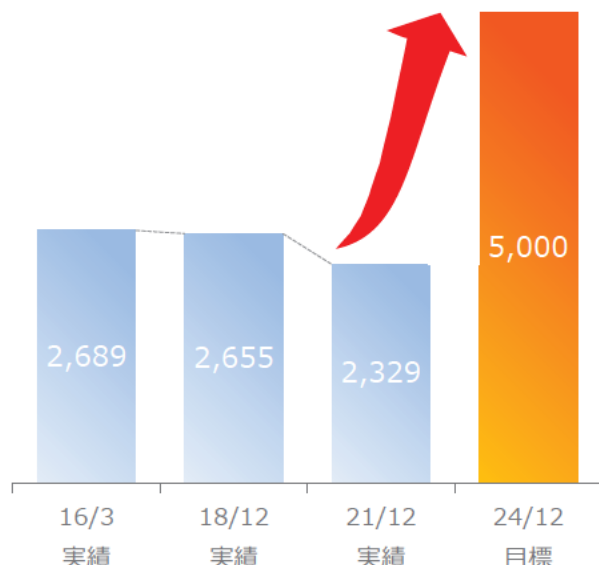


<TOK Vision 2030 より>

市場ニーズに迅速に対応し販売拡大を目指す

売上実績・売上目標

単位：百万円



■ WHS※装置

- 先端パッケージ向けの販売を強化

■ プラズマアッシング装置

- パワー半導体向けの販売を強化



3次元実装用
ボンダー装置



3次元実装用
デボンダー装置



枚葉式プラズマ
アッシング装置

※ WHSはウェハハンドリングシステムの略



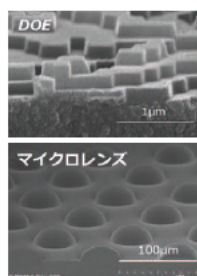
事業戦略⑤：新規事業

100年企業を見据えた新規事業の創出



光学部材

- AR/VR、3Dセンサー用途
 - ・ ナノインプリント材料
 - ・ 高屈折率材料
- 高付加価値用途に注力



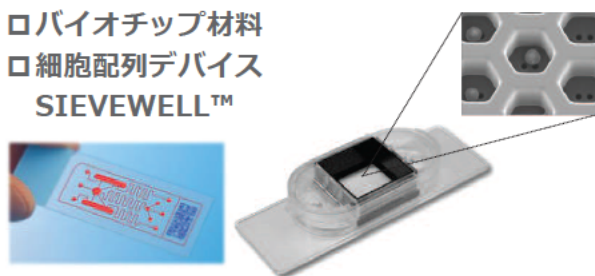
機能性材料

- 機能性フィルム
- 表面改質材料



ライフサイエンス関連材料

- バイオチップ材料
- 細胞配列デバイス
SIEVEWELL™



その他

- 外部との協業による新たな技術の獲得、内部技術との融合



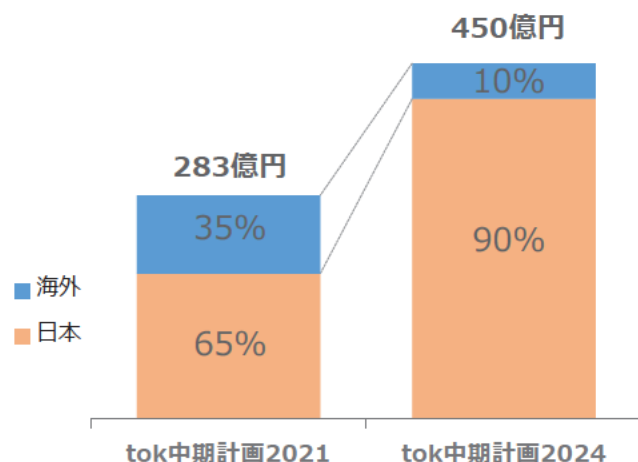
- 社会へ貢献する新規テーマの創出 (SDGs/CSR)



単位：億円	tok中期計画2018 (2016/4~2018/12)	tok中期計画2021 (2019/1~2021/12)	tok中期計画2024 (2022/1~2024/12)
設備投資額	217	283	450
減価償却費	192	204	220
研究開発費	236	283	330

(注) 2022年度から無形固定資産等を含めて表示しております

■ 設備投資額（地域別）



- 過去最大の設備投資計画
- サプライチェーン強化のために日本国内で積極的な設備投資を実施



© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

前中期計画：設備投資実績

前中期計画までに海外拠点の研究開発・生産基盤等を強化



© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

半導体産業の必需企業として設備投資を積極化

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

熊本県に新たな事業用地を取得準備

- 国内生産基盤の更なる強化
- 菊池テクノパーク
- 土地面積：12.8ha

御殿場工場

- スマートファクトリー化対応
- 増産対応

阿蘇工場

- スマートファクトリー化対応
- 増産対応

郡山工場

- スマートファクトリー化対応
- 増産対応
- 品質管理増強

相模事業所

- 最先端の研究開発
- 品質管理増強
- カーボンニュートラル投資

経営基盤強化 (DXの推進)

19

デジタライゼーションによる新たな価値創造へ

- サプライチェーン**
 - 製品開発速度の向上
 - 性能向上、品質安定化、安全性向上、コスト削減
- 社会**
 - 微細化技術に対する社会的ニーズのキャッチと実現
 - 経営資源の適切な投入と非財務情報の透明・正確な開示

tok中期計画2024

- マテリアルズインフォマティクスを活用した材料開発の推進
- スマートファクトリー構想

2030年
ありたい姿

3rd Step

- TOKの考えるDXの実現へ

2nd Step

- スマートファクトリー化
- ・ 検知、予測、自動化の実現

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



持続的な企業価値の向上

人事制度改革

人材育成

働き方改革

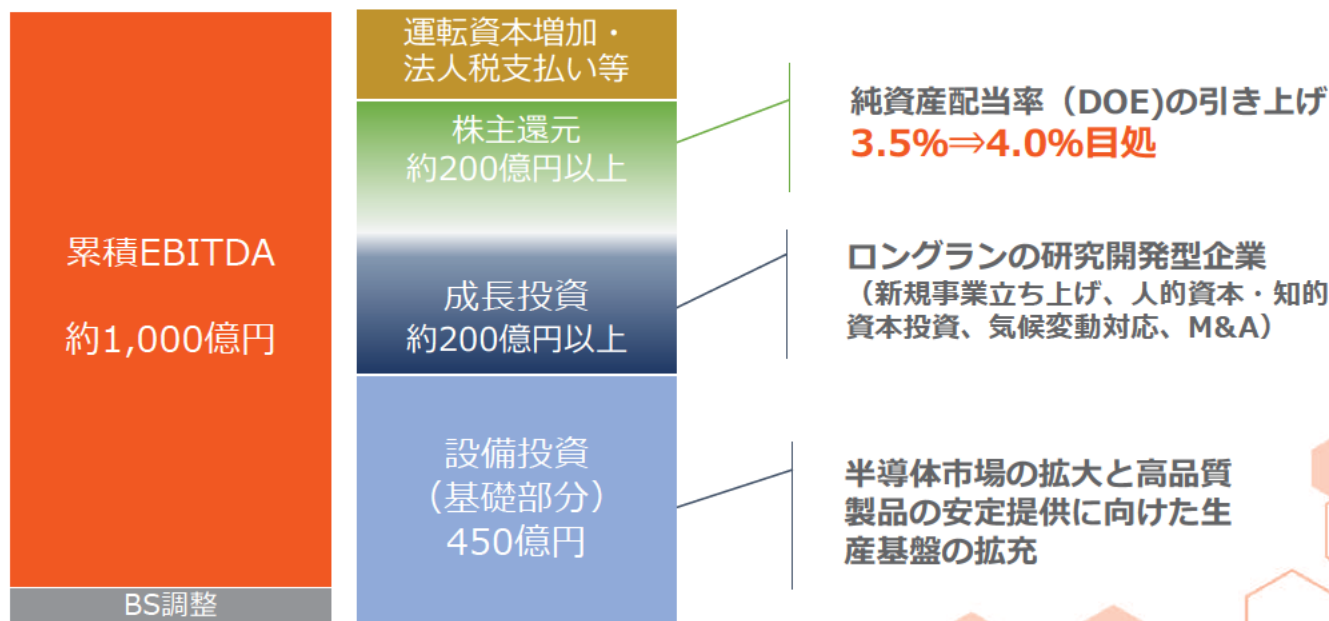
従業員エンゲージメントの向上

TOKグループの目指す**100年企業**の礎に

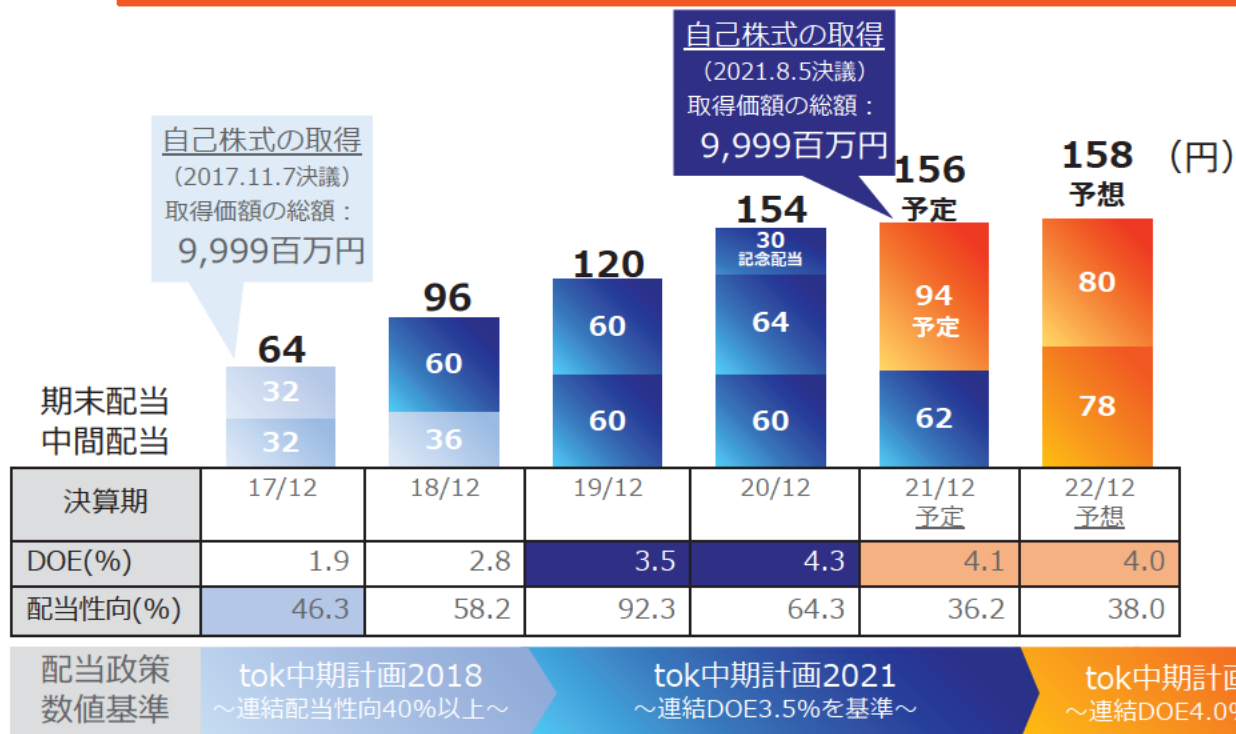


半導体材料の伸長により創出したEBITDAは、優先的に成長投資に投下した上で株主還元を機動的に配分

3カ年キャッシュ・フロー計画（イメージ）



- 安定的かつ継続的な株主への利益還元を目的として配当方針を変更。
⇒変更後：純資産配当率**DOE4.0%**を目処（2021/12期より）
- 株主還元策として自己株式の取得についても**弾力的に対処**する。



© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

カーボンニュートラルの実現に向けて

~2050年GHG排出「実質ネットゼロ」を目指し挑戦~

カーボンニュートラルの実現に向けて

2050年GHG排出「実質ネットゼロ」を目指し挑戦



TOK-J
CO₂排出量
(Scope 1 + 2)

2030年 CO₂排出量削減目標
15%削減 (2019年比)
エネルギー起因CO₂の原単位

2020年 : エネルギー起因CO₂の原単位
25%削減達成 (2013年比)



日本国内拠点の
再生可能エネルギー由来
電力比率**70%以上** (2021年)



高効率な生産施設



PHEVやEV車導入

気候変動サミット : 2030年までに**46%削減**

脱炭素社会への貢献



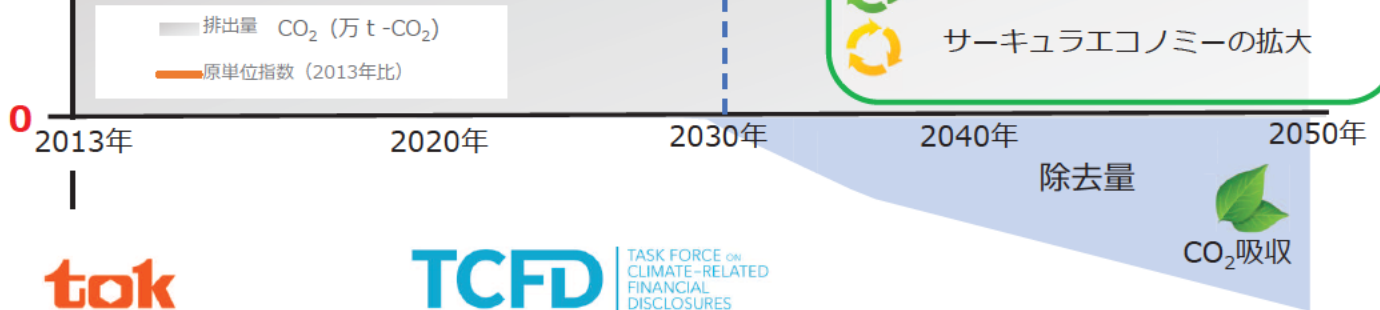
パワー半導体向け材料・装置提供



ケミカルループの開発



サーキュラエコノミーの拡大



tok

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company”

Boost up TOK!!

tok

www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

tok

© 2022 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.